

【老人クラブ活動費等補助金事業】概要 (北本市老人クラブ補助金交付要綱)

●目的

老人福祉法（昭和38年法律第133号）第13条第2項に規定している老人健康保持事業の振興を図り、事業を行う者に対して適当な援助を行うことを目的とする。

●内容

平成30年度の支出状況

補助事業	金額 <small>単位：円</small>
市老連活動費	1,108,000
市老連特別事業	800,000
健康づくり事業	150,000
単会活動費	2,276,080
バス利用補助	1,469,300
合計	5,803,380

※歳入（県在宅福祉事業費補助金）
648,000円

●支出状況



【老人クラブ活動費等補助金事業】 現況 (北本市老人クラブ補助金交付要綱)

●クラブ及び会員数の推移

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
クラブ数	34	36	41	43	43	41	40
会員数	2,169	2,272	2,208	2,280	2,312	2,194	2,164
65歳以上人口	15,956	16,843	17,748	18,347	19,035	19,592	20,085
組織率	13.6%	13.5%	12.4%	12.4%	12.1%	11.1%	9.5%

●バス補助金の利用状況

	H28	H29	H30
団体数 (円)	26	28	27
補助額 (円)	2,400,810	2,693,264	1,469,300

※平成30年度より、補助額の上限を10万円から5万円に引き下げた。

【老人クラブ活動費等補助金事業】

●参考資料：高齢者人口と割合

- ・全国について、2015年は国勢調査、2017年、2018年については「人口推計」、2020年以降については「H29日本の将来推計人口」から作成している。
- ・北本市について、2015年から2018年までは「北本の統計」、2020年以降については全国の将来推計の変化率をかけて算出している。

<全 国>

年代	総人口 (万人)	65歳以上 (万人)	総人口に占める 割合
2015	12,709	3,387	26.65%
2016	-	-	-
2017	12,669	3,513	27.73%
2018	12,642	3,557	28.14%
2020	12,532	3,619	28.88%
2025	12,254	3,677	30.01%
2030	11,913	3,716	31.19%
2035	11,522	3,782	32.82%
2040	11,092	3,921	35.35%

<北本市>

総人口	65歳以上	総人口に占める 割合
68,657	18,347	26.72%
68,154	19,035	27.93%
67,593	19,592	28.99%
67,084	20,085	29.94%
66,500	20,435	30.73%
65,025	20,763	31.93%
63,216	20,983	33.19%
61,141	21,355	34.93%
58,859	22,140	37.62%

【老人クラブ活動費等補助金事業】 他市の状況（近隣及び人口規模の類似団体）

単位：円

自治体	人口（団体数） 令和元年6月1日現在	歳出					合 計
		市老連活動費	単会活動費	特別事業費	健康づくり事業費	バス利用補助金	
北本市	65,605人（40）	1,108,000	2,276,080	800,000	150,000	1,469,300	5,803,380
鴻巣市	117,314人（58）	305,670	3,095,060	272,600	175,300	—	3,848,630
桶川市	74,351人（14）	295,640	672,000	—	—	—	967,640
上尾市	225,765人（86）	860,000	5,160,000	—	—	866,052	6,886,052
行田市	79,562人（67）	590,000	2,442,800	—	—	—	3,032,800
羽生市	54,073人（76）	—	3,078,000	798,000	300,000	—	4,176,000
蓮田市	61,558人（26）	714,600	1,455,806	—	—	—	2,170,406
幸手市	50,944人（26）	190,464	1,002,720	—	—	—	1,193,184
鶴ヶ島市	70,105人（31）	315,800	1,394,600	—	—	50,000	1,760,400
白岡市	52,038人（22）	203,000	396,000	740,000	230,000	—	1,569,000

※白岡市は、他に社会福祉協議会へ「事務費等」を441,000円支出している。

※類似団体のうち、人口規模がほぼ同等の県内他市と近隣市町を参考とした。

【老人クラブ活動費等補助金事業】

< 最近の推移と課題 >

- ・ 65歳以上の人口は増加傾向にあるにも関わらず、クラブ数、会員数ともに減少傾向にある。
- ・ 組織率が低調なまま推移しており、直近では1割を下回っている。
- ・ クラブ内での高齢化も進んでおり、役員などの運営に携わる人材の不足が深刻になっている。
- ・ バス補助金に関しては、平成30年度から1団体あたりの補助額の上限を5万円に引き下げて、実施したが、利用する団体数に変化は見られない。
- ・ バスの補助金を支出している自治体は、ほとんど無い。
- ・ 県内の人口規模が近い自治体と比較しても、連合会への補助金の支出が大きく、補助金の合計額は、近隣、類似団体と比べても高くなっている。